

ジャムカ JAMCAのコロナ対策

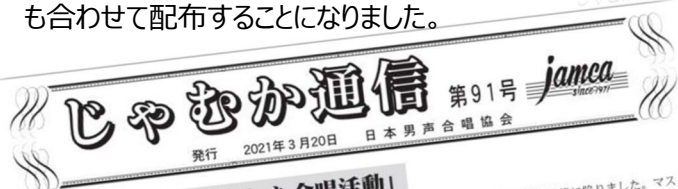
日本男声合唱協会JAMCAでは、定期刊行紙「JAMCA通信」(紙媒体)のPDFデータをCDにして加盟団体への配布を始めました

首都圏1都3県の新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言は、本日3月21日をもって解除されます。しかし、それとは裏腹に宮城県では感染再拡大に伴い、独自の緊急事態宣言を出しました。燎原の火のごとく地方に広がっているのでしょうか。

宣言が出されていないところでも、日常の活動が制限されており、とくに合唱に対する世間の目は相変わらず冷たいものがあります。これはかなり根が深いもので、原発事故による風評被害に苦しむ東北の方々と同じような難題を抱えています。

PDF・CDで迅速な情報発信

JAMCAでは、会員の活動状況を調査したところ、そもそも集まる機会がないため「JAMCA通信」の配布自体できないとの回答があったため、メールでやりとりできるPDF・CDも合わせて配布することになりました。



特集「Zoomを活用した合唱活動」

新型コロナウイルスの拡大、二度の緊急事態宣言発令により、この1年近く合唱活動は非常に困難な状態に陥りました。マスク・アルコール消毒・換気などの対策を講じながら練習を再開した団体においても、練習参加人数が少ない＝職場の事情や健康への不安などから参加できない団員が多い状況は続いていることと思われます。

「練習に来られない団員をどうつなげていくか」この長いコロナ禍の中では、活動を継続していくと同時に、テレワークの離れている団員が戻ってこられる措置を講じていく必要があると思います。そのための方法は様々ありますが、テレワークの基本的な情報と普及してきたweb会議アプリを使用する方法があります。この特集では、web会議アプリZoomの基本的な情報と加盟団体の実践例を紹介いたします。コロナ禍はまだ当面続くと思われませんが、会員諸氏の活動の一助となれば幸いです。

「Zoomとは何か? その使い方とメリット・デメリット」

東海メールクワイア合唱資料室 学芸員 曾我 雄司

1 Zoomとは何か?

Zoomは、web会議アプリと呼ばれるもののひとつです。Web会議アプリとは、自宅のパソコン(PC)やスマートフォン、タブレット、インターネットに接続することで、遠く離れた場所にいる相手とリアルタイムの会議ができる

PDFは受取側の環境に応じた画質の異なる3種類を揃えています。その中から適当なものを選び、各団の中でメール配信することになりますが、やはり最後まで課題として残るのはPDFを開ける環境にないメンバーです。

男声合唱団コール・グラッツでは、メールに添付されたファイルを開覧できない一部のメンバー用に、コンビニでプリントアウトできるネットワークプリントサービスを利用していますので、今回もこれで渡します。これは、画像(JPEG/PNG)と文書(PDF/Word)を無料で送ることができます。但し、コンビニで取り出すときにコピー料金が発生します。

今回の「JAMCA通信」はA4サイズにびっしりと12頁、ト

ップ記事には「Zoomを活用した合唱活動」の特集、Zoomの使い方、メリットとデメリット、Zoomの活用事例などを紹介しています。連載物には、「京子の部屋」(合唱指揮者・飯沼京子)、「男声合唱四方八方話」(菅野哲男)、「男声合唱考」(合唱指揮者・松原千振)、「男声合唱万歳!」(都築義高)などがあり充実しています。

埼玉県合唱連盟 4月に総会を予定

埼玉県合唱連盟は、4月29日に今年度総会を計画しています。ただし、感染対策のため各合唱団の代表1名に絞っています。去年はオンラインでの開催となりましたが、感染状況もそれなりに回復の兆しが見え始めているので、リアル開催に踏み切ったものと思います。もちろん感染状況によっては開催方法を書面表決等に変更する場合もあるとしています。今回の会場は、従来の市民会館おおみやが取り壊されるため、大宮ソニックシティ・小ホールに変更されました。

また、総会の最後に<リモート合唱>での新曲初演「日々あたらしく」の完成動画が公開されます。



この曲は、『おんがく広場』第126号でもお知らせしましたが、作詩・新川和江さん、作曲・土田豊貴さんによるもので、クラウドファンディングで作ります。同声2部、女声3部、混声3部・4部、男声4部と幅広く歌えるように作曲されています。

リモート演奏による動画または音源は4月8日まで、合唱団による完成演奏動画は4月23日までそれぞれ受け付けています。

詳しくは埼玉県合唱連盟のホームページをご覧ください。

<http://saicl.net/>